

2016. 9. 16 (Fri) 13:20-18:00

東京工業大学 大岡山キャンパス  
西9号館デジタル多目的ホール  
(東急大井町線・目黒線 大岡山駅から徒歩6分)

「ゲノムをただ観察する時は過ぎ、  
築き上げる時代が到来している」

Human Genome Project-Write (HGP-Write) は  
Boeke教授をリーダーとして  
6月に米国で発足した国際プロジェクト。

ヒトゲノム全合成という途方もない目的を掲げることで  
研究者の想像力を触発し、  
ゲノムサイエンス一分野を超えた  
次世代の生命科学やバイオ産業を支える技術革命を次々と誘発する  
大いなるポテンシャルを秘めている国際プロジェクト。

Boeke教授の来日を記念する本シンポジウムを通して  
ゲノミクスが切り開く未来をご一緒に考えましょう。

生命理工学 ミニシンポジウム

“Frontiers of Functional, Industrial and Synthetic Genomics”



“How to Synthesize a Genome” Jef D. Boeke

Co-founder, International Consortium “Human Genome Project (HGP)-Write”  
Co-founder and leader, Synthetic Yeast 2.0 (Sc2.0)  
Director, Institute for Systems Genetics  
Professor, Dept. of Biochemistry and Molecular Pharmacology  
New York University Langone Medical Center

“Synthetic Biology for Smart Cell Industries”

近藤昭彦

神戸大学大学院工学研究科 教授、  
神戸大学統合バイオファイナリーセンター長  
神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科長  
理科学研究所環境資源科学研究センター 細胞生産研究チームリーダー

“Human Proteome Coded in Untranslated RNAs”

相澤康則

東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター 講師

“Genomic DNA Synthesized by Genome Vector”

金子真也

東京工業大学生命理工学院 助教

お問い合わせ先: 東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター 相澤康則  
横浜市緑区長津田町4259 B64 (yaizawa@bio.titech.ac.jp)